

森林公園サイクリング

吉田 弘行

夏合宿から帰る。そぎまから教員後、運動不足

のため自分用自転車に乗ってあちこちを走った。

また、合宿中は走れど走れど自転車は一向に前

に進まず、という感じがしたか、疲れもとれた

せいであろうか。走れど走れど自転車は前に進

みずぎる。つまり、合宿後、再び自転車に乗

てみると、自分のからだは自転車と同一の存

在と考えられ、足がペダルに密着したようであ

った。その原因は、疲れがとれたのが最大の要

因であるが、合宿によつて得た技術も含まれる

と思う。予備合宿の時は、登りの坂道は、少し

走って、少し休憩、少し走って多く休憩。その

ギンに、一晩に坂道を登れなかつた。しかし、

合宿では、遅いけれど、休まないうえをれるよう

になつた。しかし合宿は苦しかつた。

さて、夏休み中、いろいろな所を走つてみた。

とはいへ、全く銭のかからぬサイクリングであ

つた。野原、長瀬、小川、みな我が家から切

削以内の近いところである。その中の一番お

もしろかつた森林公園内のサイクリングについ

て話してみたい。

時は8月7日、昼二時に出発、森林公園南口

まへはゆるゆる歩いたか、そこへ到着したのか二時

くらいだ。た。どうして、そんなじ所際かかか

つたのだらうか。故障・パニック・休憩、いゝとあ

らうか。いやちかつ。その原因は何だらうか。

実は、急に腹部に緊急事態が生じ、目的地へ向
う途中、進行方向を逆行して、一目散に我が家
の便所に引き返す。とい。たわけだ。二階樓に
森林公園南口に到着。そして50円支払の公園内
に入る。すると何となく、かもしかのようにな、大
根のよう足をした、むちむちした女がい。は
いいるのではないか。一瞬、そこに立ち止まり、
ミニスカート・ホットパンツから出た足を鑑賞
しようと思。たが、男というものは、みんなも
のにお目向けを知らないと知り、サイクリン
グコース一同を始めた。とはい。うものの、若い
テイ・ニエイミーならよいけれど、ちくらお
くらしい幼稚園のおもちゃたちもありました。
サイクリングコースは一回13・8kmで、30分

くらで、回されると思。たが、一回するのには、
倍の一時限もかか。てしまった。再び、その原
因を究明してみよ。うのではないか。一生懸命考え
た結果、結論として、混りていた、ことが言え
る。さて、その走行中、思わぬハプニングが起
きた。道路に蛇の行列がおこ。つた。フヒキ
の蛇かニョロリニョロリと道路を横断しては、
するとそれを見ま。した若い女性が突然、自
転車を降り、一緒に走。つた若い男性に後ひ
ついていた。後ろを走。つていた僕としては、非
常に不愉快であ。つた。蛇は嫌いなので、2倍に
不愉快であり、もしもフヒキの蛇が、これもまた
デート中であ。たらう蛇の不愉快である。非時
にうまらぬサイクリングであ。つた。